

# 横芝町財政状況

昭和四十四年度の一般会計は、その後五回の及特別会計は五月三十一日補正により、最終予算は四億をもって出納を閉鎖し、決算五億九千九百六十一万七千円との調整を行った結果、その概要は次のとおりであります。尚、今回は紙面の都合上、内容を簡約して述べてありますので不明瞭な点もあると思われませんが、もし御希望の方は、いつでも役場でその内容を見る事ができます。

## 一、一般会計

積極的な事業投資

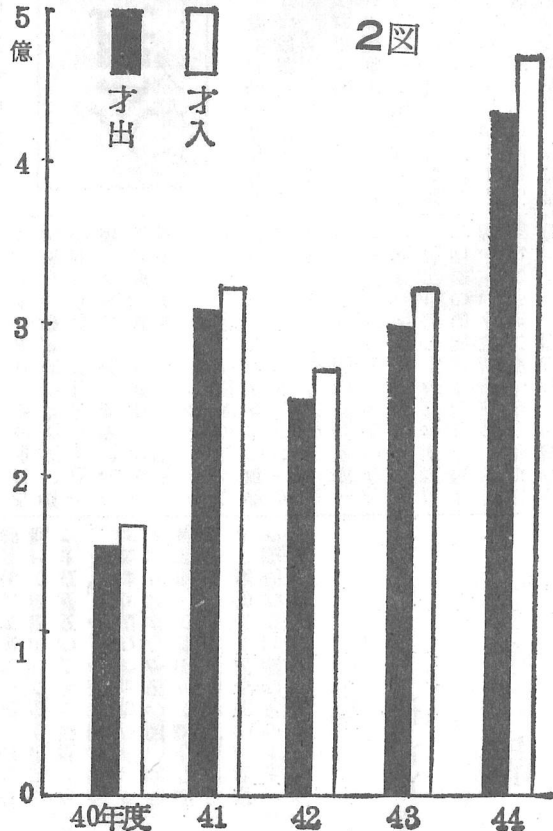
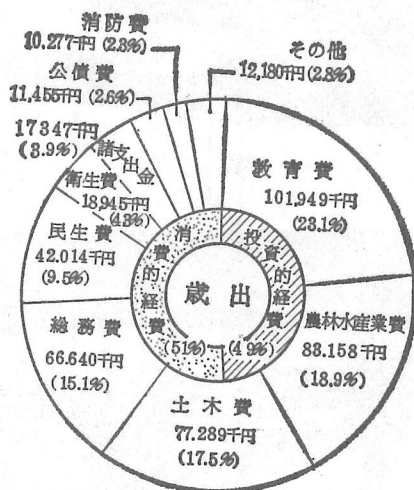
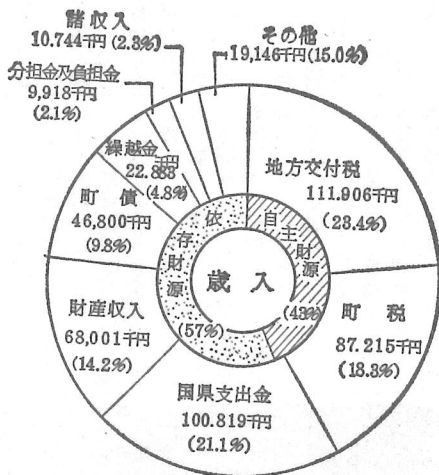
建設事業に

昭和四十四年度は当初三億四千二百九十六万二千円の規

## 一般会計

才入決算高	477,432千円
才出決算高	441,254千円
差引残高	36,178千円

1図



## 才入

昭和四十四年度才入の決算額は四億七千七百四十三万二千円であり、その主なものは、地方交付税一億一千九百六十六千円（構成比二・三・四パーセント）をはじめとして、町税八千七百二十一万五千円（一八・三パーセント）、国、県支出金一億八十一万九千円（二・一パーセント）、財産収入六千八百一十千円（一四・二パーセント）、町債四千六百八十万円（九・八パーセント）となっております。前年度に比べ著しく増加しているものに、農業構造改善事業等に伴う県支出金、各種事業執行による地方債の借入額等が挙げられます。また、地方交付税、町税等は平年どおり順調な伸びを示しております。

## 税負担の状況

町財政のうえで比重が高く、町民の皆さんに負担していただいている、税負担の状況は3図のとおりです。前年度（一人当たり九千九百七十七円）に比べると八百二十四円（一・四パーセント）の増加をみております。これは町税の自然増及び税改正によるものです。